

臨床研究情報

2017 年以降 NTT 東日本関東病院産婦人科に通院された患者さんと ご家族の皆様へ、研究へのご協力をお願い

NTT 東日本関東病院産婦人科では、以下の臨床研究を実施しています。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療記録を使用してほしくないとのご意思がある場合は、ご遠慮なく下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名

妊娠 37 週以降の前期破水における分娩誘発と児の予後

研究実施機関

NTT 東日本関東病院 産婦人科

研究責任者

杉田 匡聡(産婦人科部長)

研究の意義と目的

分娩開始前に破水が起こることを前期破水といいます。多くの場合は前期破水後 24 時間以内に陣痛が発来しますが、なかなか陣痛が発来せず待機時間が長くなると子宮内感染のリスクが上昇するため、時期をみて分娩誘発を行うことが推奨されています。海外における過去の研究によると、前期破水後すぐに陣痛誘発を開始した場合と、破水後しばらく陣痛発来を待った場合を比較したところ、すぐに誘発を開始した方が子宮内感染が少なかったと報告されています。この研究では当院での過去 5 年間の産科データを解析し、前期破水後の分娩誘発のタイミングと母児の予後の関係を検討することを目的としています。

対象となる方

2017 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までに当院で妊婦健診および分娩を行った全ての患者さんを対象とします。

実施方法

この研究は、NTT 東日本関東病院の倫理委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている分娩記録や臨床検査値などのデータを収集して行う研究です。

実施期間

倫理委員会承認日より 2022 年 12 月 31 日まで

個人情報の取り扱い

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏洩することのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたのカルテ情報は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削除し、どなたのものか分からないようにした上で、解析を行います。研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会・論文等に発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されます。ご不明な点がありましたら主治医または下記の窓口へお尋ねください。

費用

新たにご負担いただく費用は特にありません。

利益相反

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。なお、調査対象となる方への謝金はありません。

同意の撤回

データ使用を望まれない方、この研究への参加を希望されない方は、下記の連絡先までご連絡いただければ、研究対象から外させていただきます。この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は 2022 年 12 月 31 日までに下記の窓口までお申し出いただければ、データを削除いたします。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院産婦人科 坂本 公彦
東京都品川区東五反田 5-9-22
電話番号 03-3448-6111（代）

倫理・医療監査委員会事務局

運営企画部 総務担当 木村・金久保・藤本
電話 03-3448-6651